

不登校に関する調査研究協力者会議(第3回)

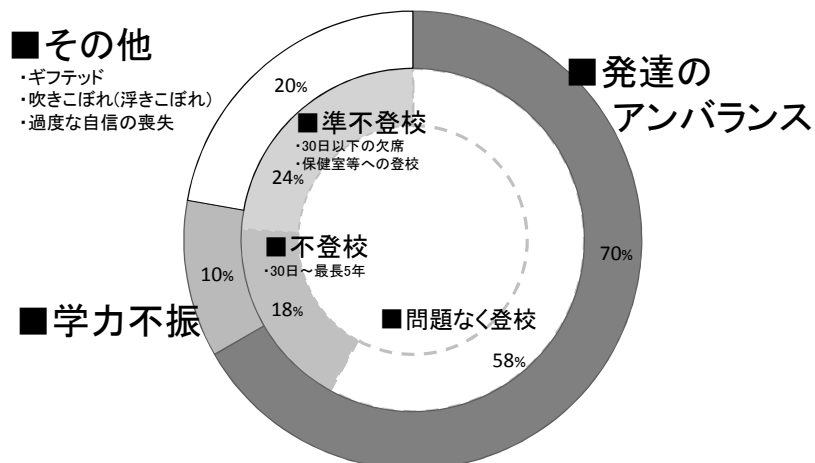
「不登校児童生徒を対象とした学校に係る教育課程
及び、校地・校舎の自己所有権の弾力化」

— 星槎中学校における実践 —

平成27年3月25日(水)13:30~15:30
文部科学省東館3階 3F1会議室

学校法人国際学園 星槎中学校
教頭 佐藤 由加子

在籍生徒の特徴



本校を希望する児童の状態

子どもたちは様々な蓋をされた状態にある



本校の取り組み①

一人ひとりを理解する

- ・心理検査WISCⅢorⅣの活用
- ・教職員の専門性

本人の特性

先生からの理解

➤ 特別支援の日常化



本校の取り組み②

一人ひとりを特別扱にする

- ・個別指導計画の作成(全生徒)

本人の特性

集団での活動

家族からの理解

学習(学力)

➤生徒の特長を
周囲の大人が
みんなで共有する

友達との関係

友人からの理解



本校の取り組み②

《参考資料1》

個別指導計画(IEP)

保護者教職員用

作成者: ○○ ○○ 作成: 平成○○年○月

生徒氏名: ○○ ○○

指導方針: 落ち着いた学校生活を送れるよう、個別に多く声をかけ、周囲の人との関わり方について指導する。学習面では基礎学力の定着を図るとともに、家庭学習の習慣を身につけさせる

		長期目標	短期目標	支援の手だて/チェック方法	配慮事項等	取組										評価	取組 評価		
						4	5	6	7	9	10	4	5	6	7			9	10
前期	F4-5	集団中での行動	相手の気持ちを考えながら行動する。 ①相手の嫌がることはやらない。 ②相手につくづくしない。 ③先生に注意されたことはやらない。	何が相手を嫌がらせるのか、具体的な言動を伝え、個別に指導する。また、相手に迷惑をかけてしまった場合は、今後どのように行動するべきかも確認する。 視覚的支援カードを3枚持ち、できていなければその場で教員が受け取る。残りのカード枚数で評価する。 ①枚→○、②枚→○、③枚→△、④枚→× 休み時間や授業中、様子を見ながら担任及び教科担当が声をかける。合わせて目標チェックの際に、担任とともに目を見合わせる。	※登校したまま学習室に寄り、担任と目標を確認し、カードを受け取る。 ※回収したカードは担任に渡す。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C3-1	情緒の安定	嫌なこと、困ったこと、不安なことがあった時は教員に伝える。	休み時間や授業中、様子を見ながら担任及び教科担当が声をかける。合わせて目標チェックの際に、担任とともに目を見合わせる。		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	DS-2	言語能力の促進	1日の楽しかった出来事話す。	その日の楽しかった出来事を報告させる。「いつ、どこで、どのように、どうした」プリントを用いて、順序だてて話せるように支援する。		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	B7-1	学習習慣の形成	毎日家庭学習をする。	『のびのびじゃんぶ(算数・国語)を毎日家庭でページ学習するように指導し、目標チェックの際に担任が確認する。	※朝学習時間でも実施する。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
後期						10	11	12	1	2	3	10	11	12	1	2	3	後期	

校長 ○○ ○○ 担任 ○○ ○○

本校の取り組み③

一人ひとりのペースを認める

・教育課程の弾力化

習熟度別クラス編成
ワークシート方式の授業

学習(学力)

本人の特性

先生からの理解

集団での活動

・段階的登校

➤「できる」という実感

友達との関係

友人からの理解



本校の取り組み③

《参考資料3》

ワークシート(数学)

せいめい なか かほ
数学1年【○○クラス】No.13 生活の中のお金Ⅱ 名前:

～「100%引き」って...どうということ?～

「300円の20%引き」を尋えてみよう。

↓

のものが 分の

【考え方】

① 「300円の20%引き」は15円... →No.12の復習

② ということは...

答え:

【例題1】500円の30%引きはいくらが答えなさい。

①

●500円の20%

- × =

●20%引き

- - =

習熟度別

月 日 ()

数学1年【△△クラス】No.24 1次方程式Ⅳ 名前:

【分数も嫌っ!】分数を足したら、分母が公倍数...!

$\frac{1}{2}x - 2 = -\frac{1}{3}x + 5$ 一分数を整数にするために 倍する。

↓ 通分する ↓

$x - 2 = -\frac{1}{3}x + 5$ 一整数だけの式

【例題1】次の方程式を解きなさい。

(1) $\frac{1}{3}x - 2 = -\frac{1}{2}x + 5$

(2) $\frac{2}{3}x = \frac{1}{2}x + 5$

本校の取り組み④

一人ひとりがお互いを認める

・SST(ソーシャルスキルトレーニング)の実施

友達との関係

本人の特性

・生徒・教員・保護者が
同じ理念を共有

友人からの理解

星槎の3つの約束

「人を認める」

「人を排除しない」

「仲間を作る」

➤子どものための
学校(環境)づくり



本校設置までの経緯について①

・星槎中学校が開校するまでの経緯は、横浜市が内閣府に「教育特区」の申請を行い、国の認定を受けてから神奈川県为学校設立の認可を受ける。

この経緯の期間は横浜市が特区申請から国の申請を受けるまで約1年、星槎中学校が設立申請に認可されるまでに約8カ月を要し、国の認定から県の設立認可まで約2年を要した。

➤横浜市と神奈川県とが行政の一本化を図ることで約1年くらいで認可が可能と考えられる。

本校設置までの経緯について②

・校地校舎の自己所有要件の緩和はいただいたものの、設置基準は各都道府県により異なるため、その諸条件を満たすための再調整および申請が必要となった。

➤設置基準を含んだ自己所有要件の緩和が望ましい。